

令和7年7月24日
国土交通省中部地方整備局
木曽川下流河川事務所

大規模災害に備え、**防災通信訓練**を実施します

～現地映像を関係機関にリアルタイム配信～

災害発生時において、道路や河川等の社会インフラを復旧させるためには、通信回線を迅速かつ確実に構築することが重要です。このため、中部地方整備局では、機動性が高く安定した防災通信機器の整備を進めています。

今般、災害発生時に迅速かつ確実に防災通信回線が構築できるよう、防災通信機器の操作技術の習熟を目的として、三重ブロックにて防災通信訓練を実施します。（前回は令和4年度）

- 開催日時 : 令和7年7月29日（火） 10時00分～16時00分（小雨決行）
- 現地訓練 : 城南防災ステーション
実施場所 : 揖斐川右岸 伊勢湾岸自動車道上流側（桑名市立田町地先）
（集合場所）
※午前の操作技術習得訓練は、城南防災ステーションで行います。
※午後の被災自治体等との情報共有訓練は、城南防災ステーション、桑名市、城南排水機場で行います。
- 参加機関 : ・国土交通省（本省、中部地方整備局、木曽川下流河川事務所、三重河川国道事務所、北勢国道事務所、紀勢国道事務所、蓮ダム管理所）
・桑名市
- 内 容 : ・操作技術習得訓練
・自治体（桑名市）を含めた情報共有訓練
- その他 : ・取材のご希望がありましたら、令和7年7月28日（月）12時までに別紙「取材申し込み用紙」にてFAXをお願いいたします。
・防災体制に入ることが想定される場合等は実施を中止します。
- 配布先 : ・中部地方整備局記者クラブ、桑名市政記者クラブ、
三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ

（問合せ先）

中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

副 所 長 岡本（おかもと）

防災情報課長 市川（いちかわ）

TEL 0594-24-5721

FAX 0594-22-4840

防災通信訓練(中部一三重ブロック)

案内図

現地訓練実施場所(集合場所)

城南防災ステーション
揖斐川右岸
伊勢湾岸自動車道上流側
(桑名市立田町地先)

木曽川下流河川事務所



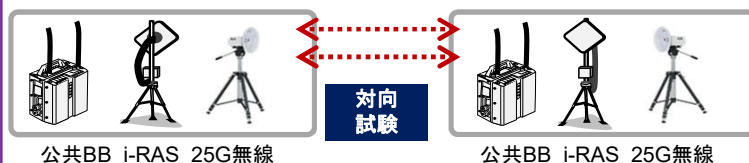
城南防災ステーション
(現地訓練実施場所(集合場所))

訓練概要

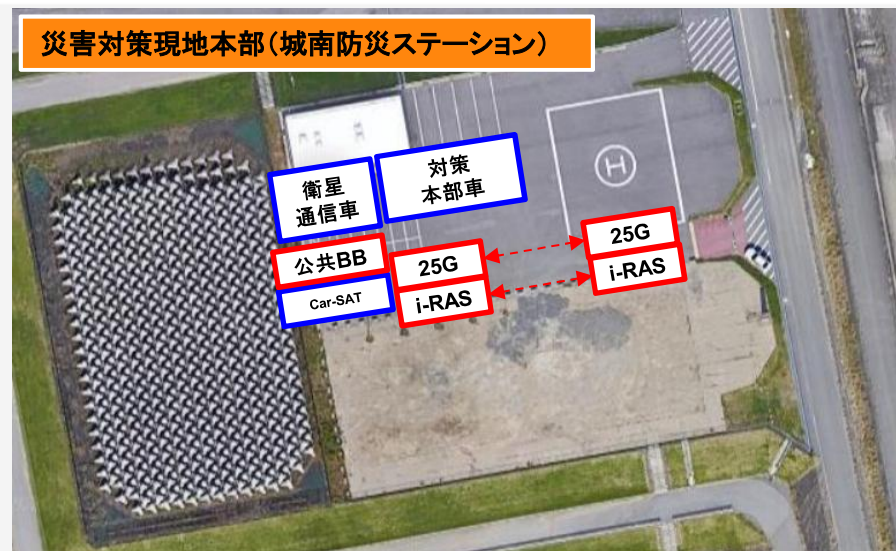
AM 操作技術習得訓練

■ 「i-RAS」「25G無線」「公共BB」
「Car-SAT」を重点通信機器として、操作
技術習得訓練を行う。

操作技術習熟訓練



災害対策現地本部(城南防災ステーション)



PM 被災自治体等との情報共有訓練

■ 被害想定を基に、被災現場の映像(ヘリ映像、Car-SAT移動映像)を各所に配信する訓練を行う。
また、各所とWEB会議訓練を行う。

※各所:現地対策本部、木曽川下流河川事務所、中部地方整備局、国土交通本省、被災自治体(桑名市)

(被害想定)

超大型で非常に強い台風が中部地方を通過、木曽川流域では長時間の豪雨が発生

- ・揖斐川右岸7.2kmにおいて延長120mの堤防決壊
- ・揖斐川右岸6.0km～12.6km(約7.6km)にわたり、広範囲に浸水被害
- ・桑名市では、逃げ遅れた住民が救助を待っている状況

(通信状況の前提)

- ・通常の通信網(公衆回線)は途絶
- ・事務所-桑名市間で接続している光ファイバは切断



□: 本訓練使用通信機器

地上災害に影響を受けない上空より、映像の伝送を行います。



災害発生時に、国土交通
省専用回線と災害現場の
通信接続を行います。



i-RAS

仮設カメラ

公共BB
無線裝置

公衆回線を使わず、移動しながらリアルタイムにデータの伝送が行えます。



移動しながらリアルタイムに高品質映像、音声の長距離伝送が可能です。

災害に強い独り、確実な音
います。



地上災害に影響を受けない衛星
回線を介して、継続的な被災箇
所の映像伝送を行います。



無線局免許が不要な無線伝送システムで、他機関接続やラストワンマイルの通信に使用します



別紙

防災通信訓練 取材申し込み用紙

＜宛先＞ 木曽川下流河川事務所 防災情報課 市川
FAX 0594－22－4840

連絡先等記入欄

会社（報道機関）名：＜ ＞

ご担当者様 氏名：＜ ＞

当日の連絡先：＜ ＞

取材人数：＜ ＞人 取材車両＜ ＞台

※訓練当日に連絡できる携帯等をお願いします。

（雨天等により、中止とする場合は、ご連絡させていただきます）

※複数でご参加の方は、代表者の方のお名前・連絡先をご記入をお願いします。

※ご連絡期限は令和7年7月28日（月）12時までとさせていただきます。